

きほく人奮闘記



広見クラブ壮年

9月2日～5日の間、静岡県で開催された「第32回全日本壮年ソフトボール大会」において、愛媛県代表として出場していた「広見クラブ壮年」が、3位という好成績を収めました。

今年結成4年目を迎える当チーム。選手のほとんどが、昨年全国制覇を果たしたソフトボールチーム「鬼北ジュニア」の保護者や指導者です。また、幼い頃から、ともに野球に汗を流してきた仲間ということもあり、お互いの気心が知れた和やかな雰囲気が特徴のチームです。

今回は、当大会に向けて練習に励んできた選手たちに、試合を終えての感想を聞きました。背番号、氏名、感想の順で紹介します。（※敬称略）

③⑩武田伸一監督「勝因は同じ時代、同じ地域で育ったからこそこのチームワーク」①武田久雄「レギュラーを獲得して、皆を全国に連れて行くぞ！」②大

内禎「身長160cmのおじさんでも全国で通用します」④清家康史「優勝したかった…でも楽しかった」⑥武田修平「セカンドは渡しません。来年も全国へ！」⑦渡辺哲司「皆のお陰で3位になりました」⑧清家平「このチームに参加できたことを光栄に思います」⑩兵頭和一「チームのお陰で

貴重な体験ができました」⑪土田慎一「北海道のショートには敵わなかった。また皆で行きましょう」⑮稲垣幸一「来年こそは優勝目指します！」⑯小野政則「あの場面で打っていたら、勝っていた…。次は打つぞ！」⑰善家正常「このチームの一員で良かった」⑳岡村亮「俺が出場していたら、皆二日酔いと寝不足でもっと良い成績だったはず…。次は優勝しましょう！」㉑加形哲也「冬場の走り込みから鍛え直します」㉒山本雅之「また来年全国に行けるように頑張ります」㉓善家哲也「全国大会の雰囲気最高！後輩に伝えたい」㉔宇都宮克志「来年度に向けて体作りと気持ち作りをして、ベンチ入りを目指します」㉕井上至「来年はさらに上を目指したい」㉖渡部圭一「メンバーに恵まれて感謝」㉗宇都宮寿史「これからもチームのために頑張ります」

鬼王丸のほのぼの日記

作 榎形 浩人
絵 にのみや なつみ



人口と 9/30現在

世帯数

人口	10,666人
男性	4,991人
女性	5,675人
世帯数	5,108世帯

※外国人住民を含みます。

編集後記
▼ついに開催された「愛顔なぐえひめ国体」。この日を待ち望んでいた方は、多数おられたのではないのでしょうか。鬼北町では、民泊が実施されることとなり、この日に向けて、休み返上で準備に取り組んで来られた民泊協力会の皆さん、本当にお疲れ様でした。いくつかの協力会の歓迎会や送別会を取材させていただいたのですが、どの選手団からも「こんなに歓迎していただき、とても思っていた以上に良かった」と涙する一幕がありました。そして、その言葉は、協力会の皆さんの疲れを吹飛ばす最高の瞬間だったのではないのでしょうか。そうした感動をありがとうございます。取材中、選手団の皆さんから温かいご意見をいただきました。また、取材のお手伝いをたくさんしてくださる、本当に嬉しかったです。

(悠)